



竹田 英司

「竹田さん、リーベン(劉力賓選手)に羽田空港へのお行き方を英語で教えてやってください」

4月中旬、Vリーグ準優勝に終わったチーム一同は、重い足取りで広島へ帰ろうとしていた。通訳案内士の経験がある私が、所用のため別経路で広島に戻る劉選手に英語で説明。切符を渡すと、彼は「ありがとう、先生」とほほ笑んで電車に乗り込んだ。

一部の選手から「先生」と呼ばれ始めていた私は、「焦らなくても、こうやって少しずつ選手から信頼を得ればいいのだな」と劉選手に教えられた気がした。

劉選手は人見知り気味だが、一度打ち解けるとい

◎ 劉選手との別れ 寂しい



黒鷲旗の準決勝敗退後、チームメートに胴上げされる劉選手 (5日)

いろいろな話をしてくれました。中国での少年時代はバレーボールだけでなくバスケットボールもしていたこと、日本のバスケットを題材にしたアニメを毎週楽しみにしていたこと、そして日本でまたプレーできるなら、必ずJTに復帰して広島で生活したいと…。

チーム内外から愛された劉選手、またいつか一緒に戦おう。今はただ、劉選手が私を「先生」と呼ぶ爽やかな声が聞こえなくなったことが、たまらなく寂しい。

全日本男女選抜大会(黒鷲旗)の準決勝敗退後、劉選手が出発直前のバスでチームに最後のあいさつをした。

「みんな、今までありがとう」(JTマネジャー)